

筆記試験（専門科目）は、以下のリーディングリストに掲載されている資料にもとづいて出題されます。

英語教育関係

以下の書籍を参考に、英語教育研究について理解をしておくこと。

文部科学省（2017）『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 外国語編』文部科学省。

文部科学省（2018）『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 外国語編・英語編』文部科学省。

Carter, R., & Nunan, D. (2001). *The Cambridge guide to teaching English to speakers of other languages*. Cambridge University Press. （英語教育学概論書）

石川慎一郎（2023）『ベーシック応用言語学：L2 の習得・処理・学習・教授・評価』（第 2 版）ひつじ書房。（英語教育学概論書）

卯城祐司・榎葉みつ子（2021）『中等英語科教育』協同出版。（英語教育学概論書）

鳥飼久美子・鈴木希明・縫部保志・榎本剛士（2021）『よくわかる英語教育学』ミネルヴァ書房。（英語教育学概論書）

Lightbown, P. M., & Spada, N. (2022). *How languages are learned* (5th ed.). Oxford University Press. （第 2 言語習得論概論書）

Richards, J. C., Rodgers, T. S. (2014). *Approaches and methods in language teaching* (3rd ed.). Cambridge University Press. （海外の英語教育史概論書）

伊村元道（2003）『日本の英語教育 200 年』大修館書店。（日本の英語教育史概論書）

※以下の書籍には英語教育に関する専門用語が簡潔に解説されており、上記の書籍の内容理解の助けになります。

Richards, J. C., & Schmidt, R. (2015). *Longman dictionary of language teaching & applied linguistics* (4th ed.). Longman.

白畑知彦・富田祐一・村野井仁・若林茂則（2019）『英語教育用語辞典』（第 3 版）大修館書店。

※その他、『Applied Linguistics』、『ELT Journal』、『Language Learning』、『System』、『TESOL Quarterly』、『The Modern Language Journal』などの英語教育関連学術雑誌で研究の動向を見ておくこと。この研究の動向は、筆記試験（専門）での出題には直接関係ありませんが、「出願書類等」中の「研究計画書」（Research Proposal）を書く際に参考になります。

英語教育研究法（統計学・質的調査法）

以下の書籍を参考に、英語教育で用いられている研究法（量的研究法と質的研究法）について理解しておくこと。量的研究法に関しては、統計学の基礎（平均値や標準偏差）、相関分析、t 検定、分散分析、ノンパラメトリック検定などの使い方も理解しておくこと（どのような時にこれらの中からどの統計手法を使えばよいか理解しておくこと）。

竹内理・水本篤（編）（2023）『外国語教育研究ハンドブック：研究手法のより良い理解のために』（増補版）松柏社。（第 1 章～第 11 章、第 17 章～第 19 章）

※以下の書籍は統計学について英語教育の事例を踏まえながら分かりやすく解説してありますので、上記の書籍の内容理解の助けになります。

前田啓朗・山森光陽・磯田貴道・廣森友人（2004）『英語教師のための教育データ分析入門：授業が変わるテスト・評価・研究』大修館書店。

※英語での理解の方が日本語での理解よりも得意な人は以下の書籍を利用されるとよいでしょう（ただし、日本語の書籍の方が具体的で分かりやすい説明となっています）。

Plonsky, L. (Ed.). (2015). *Advancing quantitative methods in second language research*. Routledge.
Flick, U. (2022). *An introduction to qualitative research* (7th ed.). Sage.

英語教育と英語学

以下の説明や書籍を参考に、英語教育の指導内容である英語という言葉に関して、その特徴を理解しておくこと。

- ① 適宜英語学の入門書を参照し、音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、談話分析、非言語コミュニケーション、社会言語学、心理言語学、認知言語学、生成文法、機能主義言語学の基本的な用語及びそれらの英語教育との関係性について理解しておくこと。用語については、英語での名称も理解しておくこと。
- ② 以下の書籍を参考に、発音記号や英語の音声に関わる基本的事項（アクセント、イントネーションなどに関わる音声学用語）、英文法の基本的事項（及び英文法用語）を理解し、それらの指導上の留意点について理解しておくこと。用語については、英語での名称も理解しておくこと。

竹林滋・清水あつ子・斎藤弘子（2013）『初級英語音声学』（新改訂版）大修館書店。

畠山雄二（編）（2019）『正しく書いて読むための英文法用語事典』朝倉書店。

英語教育と文学

以下の書籍を参考に、英語教育の指導内容である英語という言葉に関して、その創造的側面や文化的側面を理解しておくこと。

Montgomery, M., Durant, A., Furniss, T., & Mills, S. (2012). *Ways of reading: Advanced reading skills for students of English literature* (4th ed.). Routledge. （Section 3: Attributing meaning (p. 121) 以降のみ）